

ロボット支援下腎部分切除術(RAPN)に対する手術支援画像の改善の評価に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ロボット支援下腎部分切除術（RAPN）は低侵襲で患者さんに優しい治療ですが、手術中の視野が狭いため、解剖をあらかじめ把握することが通常の手術以上に重要となり、解剖をあらかじめ把握する目的で、造影 CT 検査が行われます。造影 CT 検査で撮影された画像から 3 次元画像を作成し、手術支援画像として、RAPN 術前に必要な情報を提供しています。提供する画像の中に腎静脈という血管がありますが、周囲に非常に細く分かりづらい血管があり、これまで 3 次元画像で表現できていないこともありました。

泌尿器科医と放射線技師との打ち合わせによる必要血管の見直しや 3 次元画像作成スタッフへの教育による 3 次元画像における腎静脈周囲血管に描出改善の活動を行いました。この研究は、3 次元画像の腎静脈描出改善効果の検証を目的としています。

改善活動前後での造影 CT 画像を確認し、腎静脈周囲血管の描出能を比較します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021 年 01 月 01 日～2022 年 04 月 30 日にロボット支援下腎部分切除術予定で造影 CT 検査を受けられた方

使用する試料・情報

造影 CT 検査によって得られた画像、および CT 画像をもとに作成された 3 次元画像など

研究予定期間

研究実施許可日～2022 年 10 月 09 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 中央放射線部 山口裕貴

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 中央放射線部 山口裕貴

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)